

平成24年度予算がまとまりました ますます重くなる納付金負担 今年度も赤字予算編成に

2月15日に開催された第97回組合会において、平成24年度の予算が可決・承認されましたので、お知らせいたします。

全国の健保組合を取り巻く環境は、長引く景気低迷により保険料収入の増加が見込めない一方で、医療費の増大、高齢者医療制度への過重な負担などによって依然として厳しい情勢にあります。

とくに、高齢者医療制度に対する負担は、保険料収入の約5割を占めるなど、健保組合財政を圧迫する大きな要因となっており、このために積立金を大きく取り崩して対応せざるをえない、また、保険料率を引き上げなければ財政運営を行えない

保険料収入だけでは
支出をまかなえない状況に

平成24年度収支予算概要

健康保険

■収入

| 科 目 | 予算額(千円) |
|--------------------------------|-----------|
| みなさんと事業主から納められる保険料 | 2,524,473 |
| 健保組合が互いに出し合っ て助け合うお金(調整保険料) | 38,295 |
| 繰越金 | 84,210 |
| 繰入金 | 339,969 |
| その他 | 30,278 |
| 合 計 | 3,017,225 |

■支出

| 科 目 | 予算額(千円) |
|------------------------------|-----------|
| 病気やけがやお産をしたときに健保組合が負担する保険給付費 | 1,459,693 |
| 高齢者の医療に使われる納付金 | 1,273,456 |
| 健康づくりに使われるお金(保健事業費) | 139,595 |
| 健保組合が互いに助け合うための拠出金 | 38,295 |
| その他 | 56,186 |
| いざというときのための予備費 | 50,000 |
| 合 計 | 3,017,225 |

介護保険

■収入

| 科 目 | 予算額(千円) |
|-----------------------|---------|
| みなさん*と事業主から納められる介護保険料 | 239,064 |
| 繰越金等 | 5,093 |
| 合 計 | 244,157 |

■支出

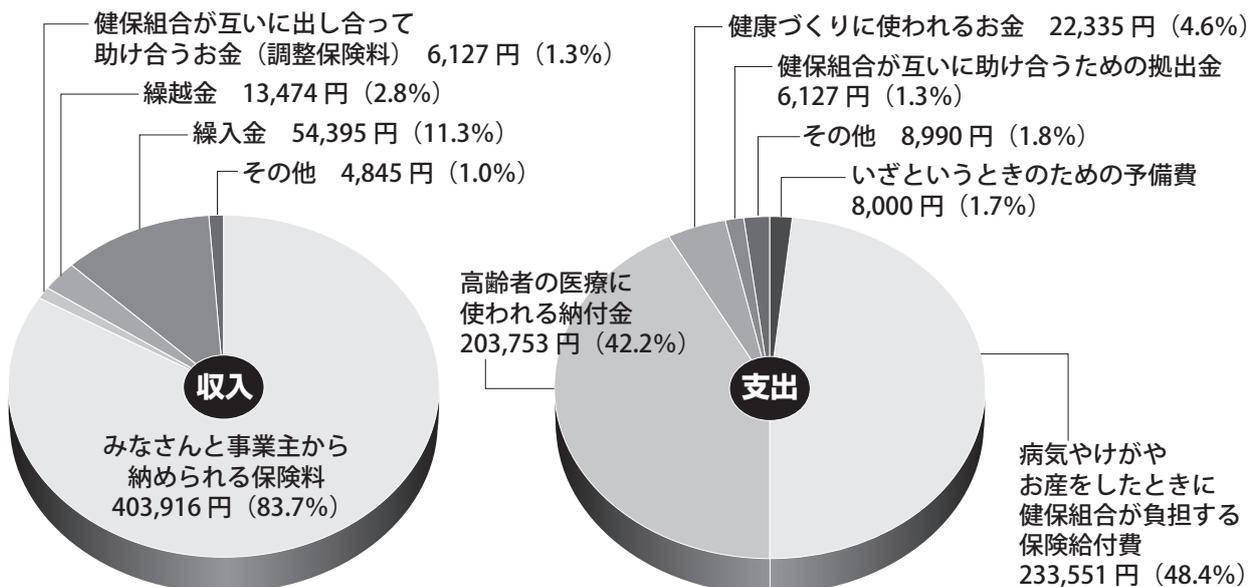
| 科 目 | 予算額(千円) |
|------------|---------|
| 国に納める介護納付金 | 240,323 |
| 積立金等 | 3,834 |
| 合 計 | 244,157 |

※ 介護保険第2号被保険者たる被保険者等

被保険者1人当たりでみた収支予算(健康保険)

収入合計 482,756 円

支出合計 482,756 円



※ 四捨五入のため、一部合計の合わない箇所があります

ないとといった状況に追い込まれていきます。当健保組合においても、厳しい状況におかれていることには変わりありませんが、平成24年度の予算編成にあたっては、健康保険料率千分の87を維持し、予算総額30億1723万円を計上しました。しかし、実質的な収支である経常収入では25億3133万円、経常支出は29億2822万円となり、3億9689万円の赤字の見込みです。

収入の柱となるのが、みなさんと事業主から納めていただく保険料収入で25億2447万円となり、前年度より4479万円下回りました。支出においては、みなさんのけがや病気の医療費、出産などの給付金として保険給付費が14億5969万円となり、同比6114万円の増加を見込みました。これは保険料収入の約58%にあたります。前期高齢者納付金や後期高齢者支援金など、高齢者の医療費として負担する納付金については、同比2億30万円増加の12億7346万円となり、保険料収入の約50%となっています。

この保険給付費と納付金を合わせた額は27億3315万円となっており、保険料収入を2億868万円も超過しています。

このほか、みなさんの健康づくりに使われる保健事業費は、前年度とほぼ同額の1億3960万円となりました。厳しい財政状況ではありますが、健診の費用補助やウォーキングプログラムなどみなさんの健康づくりに役立つ事業は、引き続き重点的に実施してまいりますので、みなさんもこれらを積極的にご利用いただければ幸いです。

**収入不足には
積立金からの
繰り入れで対応**

前述のとおり、保険給付費と納付金だけで保険料収入を上回ってしまうことから、収入不足に対しては、積立金から3億3997万円を繰り入れて対応することになっています。24年度は積立金を取り崩して対応することができましたが、こうしたことを繰り返しては、積立金もいつか底をついてしまいます。

このような状況でありますので、みなさんには日ごろから健康づくりに励んでいただき、薬を調剤してもらった場合は、価格の安いジェネリック医薬品を利用するなど、ぜひとも医療費の節減にご協力くださいますようお願いいたします。

**介護保険料率を
千分の14へ引き上げ**

介護納付金は年々増加傾向にあり、24年度は前年度より944万円増加し、当健保組合が国に納める介護納付金は2億4032万円となっています。これをもとに介護保険料率を算出した結果、千分の14へ引き上げとなりました。介護保険料は40歳以上65歳未満の方(介護保険第2号被保険者)に納めていただきます。